平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名　株式会社　昭文社　　上場取引所　東
コード番号　9475　URL　http://www.mapple.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 黒田　茂夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　経営管理本部長　(氏名) 大野　真哉　TEL 03-3556-8171

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,003	△9.3	△198	―	△141	―	△285	―
24年3月期第3四半期	11,025	3.2	940	△24.5	940	△25.7	877	△16.6

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△302百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　781百万円　(△28.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△17.19	―
24年3月期第3四半期	52.76	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	32,168	27,840	86.5	1,674.21
24年3月期	33,981	28,466	83.8	1,711.86

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　27,840百万円　24年3月期　28,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	20.00	20.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,380	△1.3	610	△46.6	670	△39.3	400	△50.4	24.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	17,307,750 株	24年3月期	17,307,750 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	679,014 株	24年3月期	678,864 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	16,628,784 株	24年3月期3Q	16,628,986 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・ 4

３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・ 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
（４）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
（５）セグメント情報等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
（７）重要な後発事象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１） 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成 24 年４月１日～平成 24 年 12 月 31 日）における我国の経済は、米国経済の緩やかな回復傾向に加え新政権による経済政策発表を受けた円安や企業業績の改善期待等はあるものの、依然として欧州における債務危機問題や中国や新興国における成長鈍化の影響もあり、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおける第３四半期連結累計期間の業績は、出版事業において市販出版物、特に地図商品の売上が大きく減少したことにより、売上高合計は前年同期に比べ 9.3%減少し、100 億３百万円となりました。また損益面におきましては、売上高の減少に加え、出版事業における新海外ガイドシリーズ『トラベルデイズ』創刊等に伴う原価高の影響もあり、営業損失は１億 98 百万円となりました（前年同期は、営業利益９億 40 百万円）。それに伴い、経常損失は１億 41 百万円（前年同期は、経常利益９億 40 百万円）、四半期純損失は２億 85 百万円（前年同期は、四半期純利益８億 77 百万円）となりました。

[セグメント別の状況]

〈電子事業〉

電子事業におきましては、前連結会計年度に引き続き、ナビゲーション事業における PND 向けアプリケーションソフト『マップルナビ』の売上は堅調に推移するとともに、６月には iPhone 用アプリ『マップルナビ S』の販売も実現いたしました。また、第３四半期では上半期での堅調な受注状況を受け、官庁、インフラ関連企業向け案件において想定以上の売上を計上することができました。しかし一方で前期実績にあるようなコンテンツ提供の大型案件が獲得できなかったことや携帯電話におけるコンテンツプロバイダからのロイヤリティ収入が減少したこともあり、電子事業の売上高は、前年同期に比べ１億 62 百万円減少し、33 億 71 百万円となりました(前年同期比 4.6%減)。損益面におきましては、売上高の減少に加え、スマートフォン向けアプリ開発における研究開発費及び新規アプリの制作原価の増加や受託案件における売上原価の増加もあり、電子事業におけるセグメント利益は、前年同期と比べ２億 52 百万円（36.9%）減少し、４億 32 百万円となりました。

〈出版事業〉

出版事業におきましては、デジタル付録（海外版マップルリンク）の付いた新海外ガイドシリーズ『トラベルデイズ』や厳選した名店を紹介する『いま人気のグルメ　2013 年ベスト・セレクション』シリーズ等の新シリーズを出版いたしました。また人気シリーズである『ことりっぷ』（国内版、海外版）におきましては、そのブランドを活用したタイアップ商品等を多数出版してまいりました。しかし一方で前期堅調に推移していた地図商品の売上が大幅に減少するとともに、雑誌において前期の様な新刊シリーズの出版やヒット商品がなかったことによる影響もあり、前年同期に比べ売上高は減少する結果となりました。特別注文品においても、前期末における受注残の減少が影響し前年同期に比べ売上高は減少いたしました。これにより出版事業の売上高は前年同期に比べ７億 64 百万円減少し、67 億 92 百万円となりました。（前年同期比 10.1%減）損益面におきましては、返品の影響は収まりつつあるものの、新海外ガイドシリーズ創刊に伴う原価率の上昇や地図商品の売上減少による影響もあり、売上原価は売上高減少にもかかわらず前年同期と同じ水準となりました。これにより出版事業のセグメント利益は、前年同期に比べ８億 24 百万円（68.1%）減少し、３億 85 百万

円となりました。

（２） 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、321億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億12百万円（5.3%）減少いたしました。この主な要因は、仕掛品が3億85百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が13億26百万円、商品及び製品が7億14百万円、データベースが3億94百万円減少したことであります。負債合計は、43億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億86百万円（21.5%）減少いたしました。この主な要因は、繰延税金負債が1億30百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が5億45百万円、賞与引当金が1億67百万円、返品調整引当金が1億38百万円減少したことであります。純資産においては、利益剰余金が剰余金の配当および四半期純損失により6億9百万円減少したため、純資産合計は6億26百万円（2.2%）減少し、278億40百万円となりました。

この結果、自己資本比率は86.5%と2.7ポイント改善しております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は、86億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して43百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、10億41百万円の収入となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純損失が1億37百万円であったことに加え、仕入債務の減少額が5億45百万円、賞与引当金の減少額が1億67百万円、返品調整引当金の減少額が1億38百万円あった一方で、売上債権の減少額が13億26百万円、たな卸資産の減少額が3億28百万円、減価償却費及びその他の償却費が9億63百万円あったことであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、6億17百万円の支出となりました。その主な要因は、定期預金の預入による支出が1億円、有形固定資産の取得による支出が1億38百万円、無形固定資産の取得による支出が4億18百万円あったことであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、4億66百万円の支出となりました。その主な要因は、配当金の支払額が3億32百万円、短期借入金の純減額が80百万円、長期借入金の返済による支出が1億53百万円あったことであります。

（３） 連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における業績につきましては、出版事業における大幅な売上高減少や売上原価率上昇の影響により、売上高、利益共に前年同期実績を大幅に下回る結果となっておりますが、平成24年10月30日に修正発表いたしました修正連結業績予想に対して概ね想定通りの結果となっております。通期業績につきましては、引き続き出版事業は厳しい状況が続くものと想定されますが、上記連結業績予想と同水準の業績を確保することが可能と判断しております。

なお、業績の見通しにつきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因の一部である当社の事業におけるリスクについては、平成24年6月28日提出の当社の「第53期有価証券報告書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）」に記載されておりますので、ご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,639,089	7,695,353
受取手形及び売掛金	4,595,576	3,269,362
有価証券	1,023,536	1,024,115
商品及び製品	1,861,851	1,147,783
仕掛品	481,020	866,972
原材料及び貯蔵品	3,407	2,790
繰延税金資産	346,627	339,264
その他	128,492	129,243
貸倒引当金	△8,989	△8,966
流動資産合計	16,070,614	14,465,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,935,098	2,842,204
土地	6,182,274	6,182,274
その他（純額）	233,534	237,315
有形固定資産合計	9,350,907	9,261,795
無形固定資産		
データベース	5,006,563	4,612,111
のれん	269,647	235,941
その他	840,685	864,327
無形固定資産合計	6,116,896	5,712,379
投資その他の資産		
投資有価証券	1,377,656	1,385,342
その他	1,464,791	1,738,290
貸倒引当金	△399,301	△394,987
投資その他の資産合計	2,443,146	2,728,645
固定資産合計	17,910,950	17,702,821
資産合計	33,981,564	32,168,739

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,261,414	715,742
短期借入金	1,004,301	923,400
1年内返済予定の長期借入金	192,684	147,212
未払法人税等	53,830	39,208
賞与引当金	351,961	184,477
返品調整引当金	674,661	535,954
受注損失引当金	3,868	800
その他	946,173	599,555
流動負債合計	4,488,894	3,146,351
固定負債		
長期借入金	137,526	129,214
繰延税金負債	630,076	760,565
退職給付引当金	113,076	124,912
役員退職慰労引当金	144,900	166,900
その他	750	750
固定負債合計	1,026,329	1,182,342
負債合計	5,515,223	4,328,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,903,870	9,903,870
資本剰余金	10,708,236	10,708,236
利益剰余金	8,179,224	7,569,514
自己株式	△524,720	△524,800
株主資本合計	28,266,609	27,656,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,412	183,225
為替換算調整勘定	6,318	－
その他の包括利益累計額合計	199,731	183,225
純資産合計	28,466,340	27,840,045
負債純資産合計	33,981,564	32,168,739

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	11,025,557	10,003,491
売上原価	7,157,725	7,112,305
売上総利益	3,867,832	2,891,186
返品調整引当金繰入差額	△244,104	△138,707
差引売上総利益	4,111,936	3,029,893
販売費及び一般管理費	3,171,849	3,228,167
営業利益又は営業損失（△）	940,087	△198,273
営業外収益		
受取利息	3,062	13,244
受取配当金	22,683	26,574
受取賃貸料	14,335	16,917
保険配当金	3,920	4,038
その他	8,423	21,770
営業外収益合計	52,424	82,545
営業外費用		
支払利息	13,765	12,916
賃貸収入原価	24,552	9,875
持分法による投資損失	523	－
貸倒引当金繰入額	13,004	－
その他	525	3,070
営業外費用合計	52,370	25,861
経常利益又は経常損失（△）	940,141	△141,590
特別利益		
固定資産売却益	5,021	9,662
特別利益合計	5,021	9,662
特別損失		
固定資産売却損	19,909	750
固定資産除却損	1,232	4,149
会員権評価損	－	200
災害による損失	33,701	－
特別損失合計	54,843	5,099
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	890,319	△137,026
法人税、住民税及び事業税	17,544	27,837
法人税等調整額	△4,585	120,946
法人税等合計	12,958	148,783
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	877,360	△285,810
四半期純利益又は四半期純損失（△）	877,360	△285,810

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	877,360	△285,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,917	△10,186
持分法適用会社に対する持分相当額	△356	△6,318
その他の包括利益合計	△96,273	△16,505
四半期包括利益	781,086	△302,315
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	781,086	△302,315
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	890,319	△137,026
減価償却費及びその他の償却費	946,679	963,991
持分法による投資損益（△は益）	523	－
会員権評価損	－	200
貸倒引当金の増減額（△は減少）	13,122	△4,336
賞与引当金の増減額（△は減少）	△188,628	△167,483
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△244,104	△138,707
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△371	△3,068
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△11,508	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△202,037	11,836
受取利息及び受取配当金	△25,745	△39,819
受取賃貸料	△14,335	△16,917
支払利息	13,765	12,916
売上債権の増減額（△は増加）	217,616	1,326,214
たな卸資産の増減額（△は増加）	497,926	328,734
仕入債務の増減額（△は減少）	△251,101	△545,671
その他	△109,959	△564,894
小計	1,532,161	1,025,966
利息及び配当金の受取額	25,914	38,168
賃貸料の受取額	13,470	15,469
利息の支払額	△13,799	△12,951
法人税等の支払額	△33,448	△25,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,524,299	1,041,650
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△71,866	△138,594
有形固定資産の売却による収入	68,229	5,862
無形固定資産の取得による支出	△337,741	△418,559
投資有価証券の取得による支出	△8,139	△966
貸付金の回収による収入	50,199	34,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△299,318	△617,892
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	83,997	△80,901
長期借入れによる収入	－	100,000
長期借入金の返済による支出	△172,334	△153,784
自己株式の取得による支出	－	△79
配当金の支払額	△332,571	△332,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420,908	△466,914
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	804,071	△43,156
現金及び現金同等物の期首残高	7,874,875	8,662,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,678,947	8,619,468

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	出版事業	電子事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,555,979	3,469,578	11,025,557
セグメント間の内部売上高又は振替高	134	65,019	65,153
計	7,556,113	3,534,597	11,090,711
セグメント利益	1,210,176	685,351	1,895,527

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,895,527
セグメント間取引消去	43,212
のれんの償却額	△33,705
全社費用（注）	△964,947
四半期連結損益計算書の営業利益	940,087

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	出版事業	電子事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,790,902	3,212,588	10,003,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,139	159,339	160,478
計	6,792,041	3,371,928	10,163,970
セグメント利益	385,923	432,438	818,361

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	818,361
セグメント間取引消去	20,235
のれんの償却額	△33,705
全社費用（注）	△1,003,163
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△198,273

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。